

## 看護系大学（学部）の想定設置例

前提条件		1 整備費については、他都市の看護系大学等の建設工事費等を参考としており、当該費用に物価上昇率等の推移等を考慮した。							
		2 定員については、50名とした。							
		3 開学見込年度については、令和11年度とした。							
設置(例)		市立大学の新規設置		公立はこだて未来大学の学部増設					
		(例1)	(例2)	(例3)		(例4)			
		市立函館病院高等看護学院および同病院の一部を利用		市立函館病院高等看護学院校舎を利用し、かつ建物を建設		市立函館病院高等看護学院およびその他建物を利用			
概要		(施設整備等の概要) 看護学院(約4,192㎡(校舎3,292㎡, 体育館900㎡))および市立函館病院の一部を利用  ①看護学院の改修(1階部分 約1,100㎡) ②市立函館病院の一部の改修(約1,800㎡) ※病院機能等の一部移転費用別途必要		(施設整備等の概要) 看護学院(面積:同左)を利用し、不足分の建物を市病院局内敷地に建設  ①看護学院の改修(1階部分 1,100㎡) ②研究室等の新築 3,000㎡		(施設整備等の概要) 看護学院(面積:同左)およびその他建物(4,000㎡程度)を利用  ①看護学院の改修(体育館を除く全部分 約3,300㎡) ②その他建物の改修(約4,000㎡想定) ※土地建物は、購入費用を含む。			
		校地面積		学校設置基準を満たす面積を確保予定		校地面積 (学院+市病院局用地)		学校設置基準を満たす面積を確保予定	
		校舎延床面積 (改修)		約6,000㎡		校舎延床面積 (新築・改修)		校舎延床面積 (改修)	
概算(参考整備費)		約3億円 ~ 約3.5億円 (税込)		約18億円 ~ 約21億円 (税込)		約10億円 ~ 約11億円 (税込)			
想定される課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>他の看護系大学に比べ、校地・校舎面積が少ない</li> <li>起債等、一括返還の可能性有り(国等と協議が必要)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>学生のキャンパス移動が不便</li> <li>起債等、一括返還の可能性有り(国等と協議が必要)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>学生のキャンパス移動が不便</li> <li>カリキュラム構築に課題</li> <li>校地ごとへの事務員配置</li> </ul>			

※整備費については、具体的な整備内容等が未定の中で試算した概算額であり、本概算額より増加することも想定される。

※市立函館病院高等看護学院の学生募集停止時期により、看護師供給に影響有